

学校図書館を考える・シリーズその6

栃木の学校図書館を見る

数字で見る小・中学校の学校図書館の今

学校図書館（小・中学校）の今の現状を数字的に捉えてみました。ポイントとして見たのは次の二点です。

- 一・人の問題 司書教諭、学校図書館司書・担当職員の配置状況
- 二・整備状況 資料本の整備・購入予算等

全国的に見た栃木県の状況、県内の市町の状況を数字を使って表してみました。学校図書館のおおよその姿は把握できると思います。（資料の数値の年度が一定でないため多少のずれはあります）
数字から見た学校図書館の抱えている問題点を探ってみました。

《司書教諭の発令状況》

栃木県においては、十二学級以上の学校における司書教諭の発令状況は小・中学校ともに100%です。（平成十八年五月現在）

- ・小学校四一八校中二百九校発令（五十%発令）
- ・中学校一六八校中九八校発令（五八%発令）

問題は、小学校に置いては半数校、中学校で約四割の学校には司書教諭が発令されていないということです。小規模校には司書教諭が必要ないのでしょうか？また、発令されている司書教諭も仕事で充分にできるように授業の軽減などの措置がなされているのでしょうか？



《図書購入予算》四、五ページ参照

購入予算に関しては文科省で平成一九年度から「新図書整備五カ年計画」を立て年間二百億円を充てた。うち八十億円は純粋に本を増やすために使い、残りの百二十億円は古い本を新しくするために使う予算。公立小中学校に均等に分けたら、一校当たり五年間で約三百万円に相当する予算が計上されています。

しかし交付税であるため使い道を決める権限は自治体にあります。この予算がどのように使われているのか？が問題です。



栃木県内小中学校学校図書館担当職員配置状況

【公立小学校】

(平成18年5月現在)

	市町村名	学校数	配置校数	%	常勤	非常勤
	全国	22,028	7,228	33%	1,562	5,962
1	宇都宮市	68	68	100%	68	0
2	上三川町	7	1	14%	1	0
3	鹿沼市	28	0	0%	0	0
4	西方町	2	0	0%	0	0
5	日光市	28	0	0%	0	0
6	真岡市	15	0	0%	0	0
7	二宮町	5	0	0%	0	0
8	益子町	4	0	0%	0	0
9	茂木町	4	0	0%	0	0
10	市貝町	4	0	0%	0	0
11	芳賀町	3	3	100%	3	0
12	都賀町	3	3	100%	3	0
13	壬生町	8	3	38%	3	0
14	下野市	12	12	100%	0	12
15	大平町	4	3	75%	0	3
16	野木町	5	5	100%	0	5
17	藤岡町	4	4	100%	4	0
18	岩舟町	4	3	75%	0	3
19	小山市	27	0	0%	0	0
20	栃木市	15	15	100%	15	0
21	矢板市	12	12	100%	0	12
22	さくら市	10	5	50%	5	0
23	塩谷町	5	5	100%	0	5
24	高根沢町	6	5	83%	0	5
25	大田原市	23	0	0%	0	0
26	那須町	13	0	0%	0	0
27	那須塩原市	25	20	80%	0	20
28	那須烏山市	7	3	43%	0	3
29	那珂川町	11	1	9%	1	0
30	佐野市	28	14	50%	2	12
31	足利市	22	0	0%	0	0
	総合計	412	185	45%	105	80

《職員配置状況》
 配置状況はたいへん厳しい現状です。現在配置されている職員を引き上げてボランティアで穴埋めをしようとしている自治体もあるようです。
 配置されている職員の状況はこの表からは見えませんが、非常勤の場合はその待遇も千差万別で、配置されているから良い、とはなかなか言い切れない現実があるようです。とはいえ、現在配置されている方々に頑張ってもらいたいという思いを、児童生徒、先生方、保護者、地域の方々に実感してもらいたいです。

栃木県内小中学校学校図書館担当職員配置状況

【公立中学校】

(平成18年5月現在)

	市町村名	学校数	配置校数	%	常勤	非常勤
	全国	10,062	3,394	34%	869	2,668
1	宇都宮市	25	25	100%	25	0
2	上三川町	3	0	0%	0	0
3	鹿沼市	10	0	0%	0	0
4	西方町	1	0	0%	0	0
5	日光市	17	0	0%	0	0
6	真岡市	6	0	0%	0	0
7	二宮町	3	0	0%	0	0
8	益子町	3	0	0%	0	0
9	茂木町	4	0	0%	0	0
10	市貝町	1	0	0%	0	0
11	芳賀町	1	1	100%	1	0
12	都賀町	1	1	100%	1	0
13	壬生町	2	2	100%	2	0
14	下野市	4	4	100%	0	4
15	大平町	2	2	100%	0	2
16	野木町	2	2	100%	0	2
17	藤岡町	2	2	100%	2	0
18	岩舟町	1	0	0%	0	0
19	小山市	11	0	0%	0	0
20	栃木市	7	7	100%	7	0
21	矢板市	3	3	100%	0	3
22	さくら市	2	1	50%	1	0
23	塩谷町	1	1	100%	1	0
24	高根沢町	2	0	0%	0	0
25	大田原市	12	0	0%	0	0
26	那須町	4	0	0%	0	0
27	那須塩原市	10	7	70%	2	5
28	那須烏山市	4	3	75%	1	2
29	那珂川町	3	3	100%	3	0
30	佐野市	10	8	80%	0	8
31	足利市	11	0	0%	0	0
	総合計	168	72	43%	46	26

正規・専門・専任という理想はありますが、専任の人のいる学校図書館でなければ、学校図書館が本来の学校図書館として機能しないのではないのでしょうか。それは児童生徒、先生方にとっても多大な損失に繋がると思います。保健室に養護の先生がいるように、学校図書館には専任の人がいる、ということが当たり前の現実になって欲しいものです。



学校図書館図書の購入額調査

【公立小学校】

(単位:千円)

	市町村名	図書購入金額	学校数	1校当たり	学級数	1学級当たり	児童数	1人当たり
	全国	9,044,512	22,230	407				
1	宇都宮市	69,353	68	1,020	966	72	27764	2
2	上三川町	4,639	7	663	73	64	2124	2
3	鹿沼市	8,483	28	303	264	32	5985	1
4	西方町	388	2	194	20	19	405	1
5	日光市	8,843	28	316	233	38	4915	2
6	真岡市	4,431	15	295	155	29	3944	1
7	二宮町	1,233	4	308	40	31	906	1
8	益子町	1,598	4	400	55	29	1424	1
9	茂木町	1,938	4	485	33	59	775	3
10	市貝町	467	4	117	37	13	717	1
11	芳賀町	2,669	3	890	37	72	914	3
12	都賀町	982	3	327	31	32	720	1
13	壬生町	3,608	8	451	85	42	2114	2
14	下野市	5,570	12	464	145	38	3801	1
15	大平町	2,399	4	600	61	39	1664	1
16	野木町	1,588	5	318	51	31	1239	1
17	藤岡町	784	4	196	35	22	843	1
18	岩舟町	3,245	4	811	43	75	977	3
19	小山市	6,841	27	253	345	20	9424	1
20	栃木市	8,963	15	598	171	52	4460	2
21	矢板市	2,574	12	215	90	29	2052	1
22	さくら市	3,212	10	321	98	33	2528	1
23	塩谷町	1,553	5	311	35	44	671	2
24	高根沢町	2,840	6	473	62	46	1756	2
25	大田原市	6,561	23	285	196	33	4261	2
26	那須町	2,330	13	179	83	28	1426	2
27	那須塩原市	7,073	25	283	289	24	7215	1
28	那須烏山市	2,464	7	352	61	40	1519	2
29	那珂川町	2,057	11	187	62	33	1019	2
30	佐野市	11,998	28	429	273	44	6733	2
31	足利市	8,102	22	368	303	27	8571	1
	総合計	188,786	411	459	4432	43	112866	2

(注) 全国の数値は平成17年度、栃木県内各市町村の購入金額は平成18年度、
学校数・学級数・児童数については平成19年度の数値です。従ってこの表は目安です。

学校図書館図書のパ入額調査

【公立中学校】

(単位:千円)

	市町村名	図書購入金額	学校数	1校当たり	学級数	1学級当たり	児童数	1人当たり
	全国	5,967,844	10,116	590				
1	宇都宮市	47,243	25	1,890	438	108	13001	4
2	上三川町	2,379	3	793	35	68	1016	2
3	鹿沼市	5,019	10	502	118	43	3127	2
4	西方町	357	1	357	7	51	186	2
5	日光市	6,095	17	359	121	50	2765	2
6	真岡市	3,233	6	539	72	45	1932	2
7	二宮町	960	3	320	19	51	438	2
8	益子町	839	3	280	30	28	804	1
9	茂木町	1,438	4	360	18	90	432	3
10	市貝町	344	1	344	14	25	418	1
11	芳賀町	1,540	1	1,540	14	110	417	4
12	都賀町	622	1	622	13	48	390	2
13	壬生町	2,706	2	1,353	34	80	1045	3
14	下野市	3,333	4	833	64	52	1908	2
15	大平町	1,001	2	501	29	35	795	1
16	野木町	1,394	2	697	28	50	720	2
17	藤岡町	600	2	300	18	33	486	1
18	岩舟町	1,783	1	1,783	20	89	545	3
19	小山市	3,751	11	341	166	23	4591	1
20	栃木市	5,813	7	830	81	72	2229	3
21	矢板市	2,520	3	840	40	63	1079	2
22	さくら市	1,473	2	737	45	33	1310	1
23	塩谷町	500	1	500	13	38	369	1
24	高根沢町	1,241	2	621	32	39	982	1
25	大田原市	6,628	12	552	85	78	2177	3
26	那須町	956	4	239	31	31	775	1
27	那須塩原市	3,047	10	305	129	24	3571	1
28	那須烏山市	1,361	4	340	34	40	864	2
29	那珂川町	1,347	3	449	23	59	602	2
30	佐野市	6,343	10	634	122	52	3473	2
31	足利市	4,451	11	405	145	31	4185	1
	総合計	120,317	169	712	2038	59	56632	2

(注) 全国の教値は平成17年度、栃木県内各市町村の購入金額は平成18年度、
学校数・学級数・児童数については平成19年度の教値です。従ってこの表は目安です。

《蔵書冊数》17年度末の全校平均

- ・ 小学校 1校当たり 7,312冊
- ・ 中学校 1校当たり 9,040冊

蔵書数に関しては県内の資料が出ませんでした。全国平均を見て自校等を判断してください。

図書標準の達成状況

(平成18年3月現在)

【栃木県】

市町村名 (都道府県立学校の場合は学校名)	公立小学校 各学校における学校図書館図書標準の達成状況					各自治体において、学校図書館図書標準を達成している学校数が、当該自治体の全学校数に占める割合
	25%未満	25~50%未満	50~75%未満	75~100%未満	達成(100%以上)	
合計	1	7	56	111	248	58.6%
1 宇都宮市	0	0	17	26	16	27.1%
2 上野内町	0	0	0	0	3	100.0%
3 河内町	0	0	0	1	5	83.3%
4 上三川町	0	0	0	3	4	57.1%
5 鹿沼市	0	3	6	10	9	32.1%
6 西方町	0	0	1	0	1	50.0%
7 日光市	0	0	3	7	18	64.3%
8 真岡市	0	0	0	0	15	100.0%
9 二宮町	0	0	0	0	4	100.0%
10 益子町	0	0	2	5	0	0.0%
11 茂木町	0	0	0	0	6	100.0%
12 市貝町	0	0	0	2	2	50.0%
13 芳賀町	0	0	0	1	4	80.0%
14 藤沢町	0	0	0	1	2	66.7%
15 壬生町	0	0	0	3	5	62.5%
16 下野市	0	0	1	1	10	83.3%
17 大平町	0	0	0	1	3	75.0%
18 野木町	0	0	1	2	2	40.0%
19 藤岡町	0	0	0	0	4	100.0%
20 岩舟町	0	0	0	2	2	50.0%
21 小山市	0	0	0	3	24	89.9%
22 栃本市	0	0	0	0	15	100.0%
23 矢板市	0	0	0	1	11	91.7%
24 さくら市	0	0	1	2	7	70.0%
25 塩谷町	0	0	0	0	7	100.0%
26 高根沢町	0	0	0	1	5	83.3%
27 大田原市	0	0	1	10	13	54.2%
28 那須町	0	2	1	5	5	38.5%
29 那須塩原市	0	1	7	10	7	28.0%
30 那須烏山市	0	0	0	1	8	88.9%
31 那珂川町	0	0	1	2	8	72.7%
32 佐野市	0	0	2	9	17	60.7%
33 足利市	1	1	12	2	6	27.3%

市町村名 (都道府県立学校の場合は学校名)	公立中学校 各学校における学校図書館図書標準の達成状況					各自治体において、学校図書館図書標準を達成している学校数が、当該自治体の全学校数に占める割合
	25%未満	25~50%未満	50~75%未満	75~100%未満	達成(100%以上)	
合計	0	8	24	48	89	52.7%
宇都宮市	0	0	6	13	2	9.5%
上野内町	0	0	0	0	1	100.0%
河内町	0	0	0	0	3	100.0%
上三川町	0	1	1	1	0	0.0%
鹿沼市	0	1	4	1	4	40.0%
西方町	0	0	1	0	1	50.0%
日光市	0	3	3	3	8	47.1%
真岡市	0	0	0	0	6	100.0%
二宮町	0	0	0	1	2	66.7%
益子町	0	0	0	3	0	0.0%
茂木町	0	1	0	2	1	25.0%
市貝町	0	0	0	1	0	0.0%
芳賀町	0	0	0	1	0	0.0%
藤沢町	0	0	0	0	1	100.0%
壬生町	0	0	0	0	2	100.0%
下野市	0	0	0	3	1	25.0%
大平町	0	1	1	0	0	0.0%
野木町	0	0	1	0	1	50.0%
藤岡町	0	0	0	2	0	0.0%
岩舟町	0	0	0	0	1	100.0%
小山市	0	0	0	1	10	90.9%
栃本市	0	0	0	0	7	100.0%
矢板市	0	0	0	0	3	100.0%
さくら市	0	0	0	2	0	0.0%
塩谷町	0	0	0	0	1	100.0%
高根沢町	0	0	0	0	2	100.0%
大田原市	0	0	0	1	11	91.7%
那須町	0	1	0	3	0	0.0%
那須塩原市	0	0	5	3	2	20.0%
那須烏山市	0	0	0	1	3	75.0%
那珂川町	0	0	0	0	3	100.0%
佐野市	0	0	0	3	7	70.0%
足利市	0	0	2	3	6	54.5%

(文部科学省 HP より)

図書標準達成状況の数値を見ると、疑問に思うのは廃棄状況はどうなっているのだろうか？ということです。資料として役に立たなくなった本や、古くて利用されない本なども廃棄せずに本棚に並べてあれば、それも1冊として数えられ、達成率が上がる、という状況はないのでしょうか？

また、廃棄するにしても何を基準にして廃棄しているのでしょうか？

全国的には、次のような廃棄基準があるようです。(・学校自ら基準を設定 ・市町村教育委員会で基準設定 ・都道府県教育委員会で基準設定 ・民間団体が設定した基準 ・特に廃棄基準を設けていない)

発行 栃木子どもの本連絡会 「学校図書館を考える」プロジェクト 平成20年1月
あなたの情報、ご意見、ご感想などお寄せください。